

2010年度・慢性透析に関する資料表

日本透析医学会による毎年末の統計により、私達透析患者の現況が集計されています。統計調査対象施設数は全国の4,226施設で回答施設数は4,152施設、回収率95.6%ということです。

これは東京都に關係するものを会員の参考資料として抜粋して掲載させていただきました。

1. 施設数 4,152施設 (19施設増 0.5%増)
2. 設備 ペーシエントステーション 118,135台 (3,156台増 2.7%増)
3. 能力 同時透析 116,312人 (2,825人増 2.5%増)
最大収容能力 393,731人 (10,201人増 2.7%増)
4. 慢性透析患者 297,126 (6,465人増)
 昼間245,204人 夜間41,914人 家庭透析279人 CAPD9,728人
 導入患者数 37,532人 (34人減 0.1%減)
 死亡患者数 28,423人 (777人増 2.8%増)
 5年未満透析患者数 男90,055 女48,179 不祥3 計138,237
 5年以上10年未満透析患者数 男45,072 女27,529 不祥0 計72,601
 10年以上15年未満透析患者数 男21,286 女14,735 不祥0 計36,021
 15年以上20年未満透析患者数 男10,503 女8,240 不祥0 計18,743
 20年以上25年未満透析患者数 男5,520 女4,750 不祥0 計10,270
 25年以上透析患者数 男6,079 女5,062 不祥0 計11,141
 人口100万対比 2,320.3人(40.8人増)
5. 最長透析歴 42年8ヵ月
6. 導入患者平均年齢 67.8歳 男性66.9歳 女性69.5歳
7. 導入患者原疾患
 ①糖尿病性腎症 16,271人(43.5%) ②慢性糸球体腎炎 7,946人(21.2%)
 ③腎硬化症 4,355人(11.6%) ④多発性のう胞腎 902人(2.4%)
8. 2010年末患者平均年齢 66.2歳 男性65.5歳 女性67.5歳
9. 2010年末患者原疾患
 ①慢性糸球体腎炎 103,864人(36.2%) ②糖尿病性腎症 102,788人(35.8%)
 ③腎硬化症 21,630人(7.5%) ④多発性のう胞腎 9,713人(3.4%)
10. 2010年死亡患者の死亡原因分類
 ①心不全 7,220人(27.5%) ②感染症 5,389人(20.5%)
 ③悪性腫瘍 2,578人(9.8%) ④脳血管障害 2,112人(8.0%)
 ⑤その他 1,765人(6.7%) ⑥心筋梗塞 1,258人(4.8%)
 ⑦悪液質/尿毒症 1,109人(4.2%) ⑧カリウム中毒/ 802人(3.1%)
 頓死
11. 1983年以降導入患者生存率
 1年87.4% 5年59.6% 10年36.7% 15年23.1% 20年17.2% 25年13.5%
12. 2010年 東京における透析患者数 28,614
 昼間22,650人 夜間4,936人 家庭透析12人 CAPD1,016人
13. 透析液エンドトキシン検査
 毎日検査・21施設 毎週・98 隔週・223 毎月・2,477 年数回・583
 年1回・385 なし・187 記載無し・22 不明 90 合計4,065施設
14. 透析液細菌数 (cfu/ml)
 0,1未満・1,804施設 0,1~608施設 1~615施設 10~311施設
 100~62施設 不明213施設 記載無し452施設 合計4,065施設

(以上、日本透析医学会調べ2010年12月31日現在)
(抜粋 岸里)